

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 24 年 3 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 23 年 3 月 31 日に噴火警戒レベルの導入に伴い噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2※、図 3-①※）

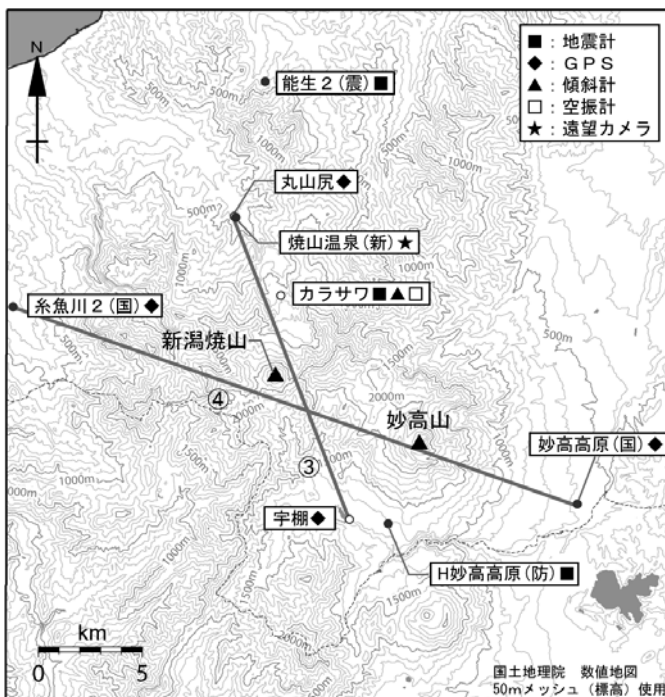
新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラでは、今期間、悪天候のため不明の期間がありますが、その他の期間は山頂部東側斜面の噴気は少なく、噴気の高さは 0～30m で経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 3-②、図 4※）

新潟焼山付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3-③④※）

機器障害のため、GPS 連続観測は欠測しました。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(震)：東京大学地震研究所、(新)：新潟県

図 1 新潟焼山 観測点配置図

GPS 基線③④は図 3 の③④※に対応しています。



図 2※ 新潟焼山 山頂部の状況
(3月29日 焼山温泉遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 4 月分）は平成 24 年 5 月 10 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、国土地理院、東京大学、京都大学及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 23 情使、第 467 号)。

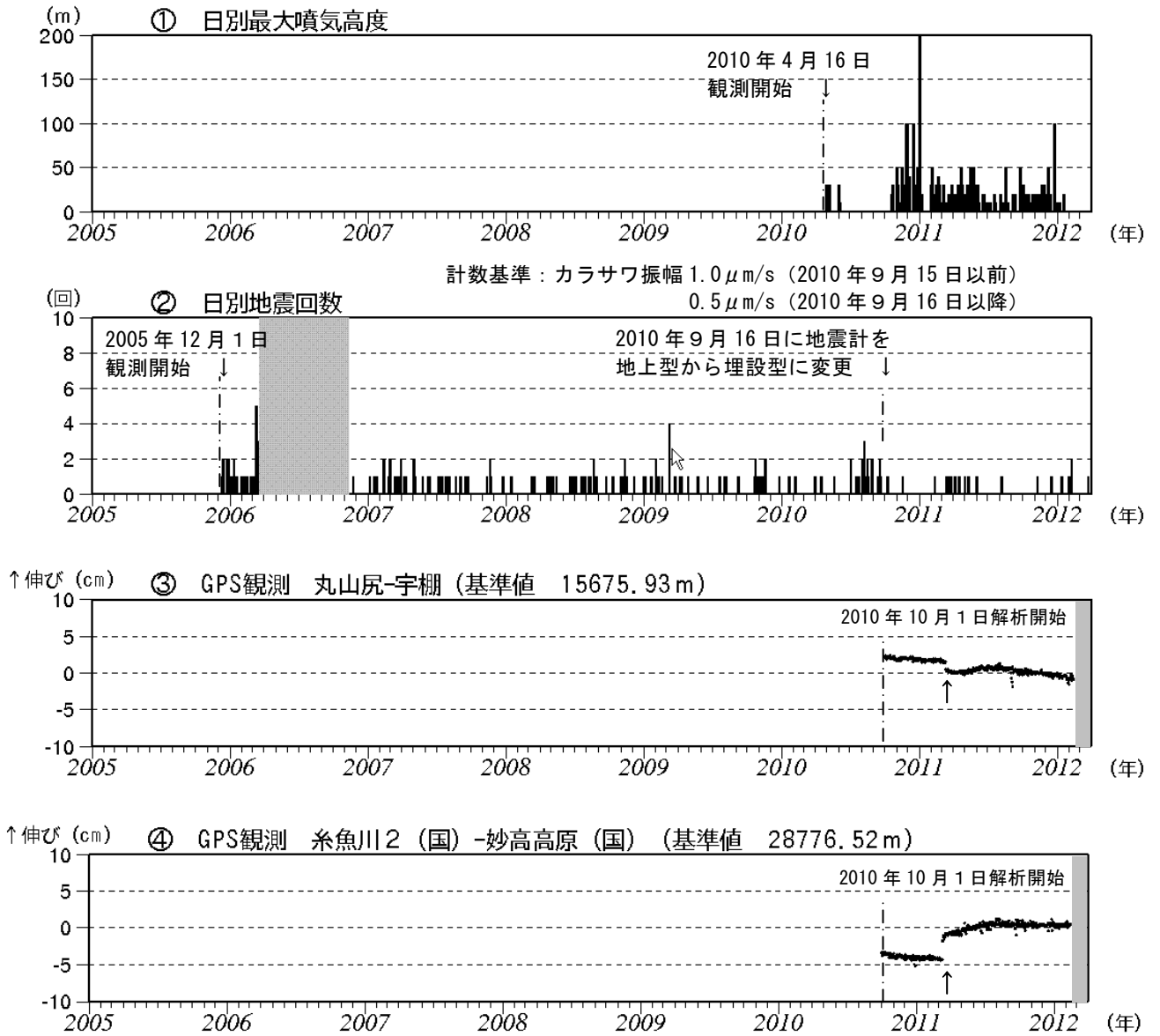


図3 新潟焼山 火山活動経過図

- ①*: 定時観測 (09時・15時) による日別最大噴気高度 (2010年4月16日~2012年3月31日)
- ②: 日別地震回数 (2005年12月1日~2012年3月31日)
 図の灰色部分は機器障害による欠測期間。
- ③ ④*: GPS連続観測結果 (2010年10月1日~2012年3月31日) (国): 国土地理院
 図の灰色部分は機器障害による欠測期間。
 ③ ④*の基線には、東北地方太平洋沖地震 (2011年3月11日) に伴うステップ状の変化がみられます (図中↑)。
 ③ ④*は、図1のGPS基線③ ④*に対応しています。

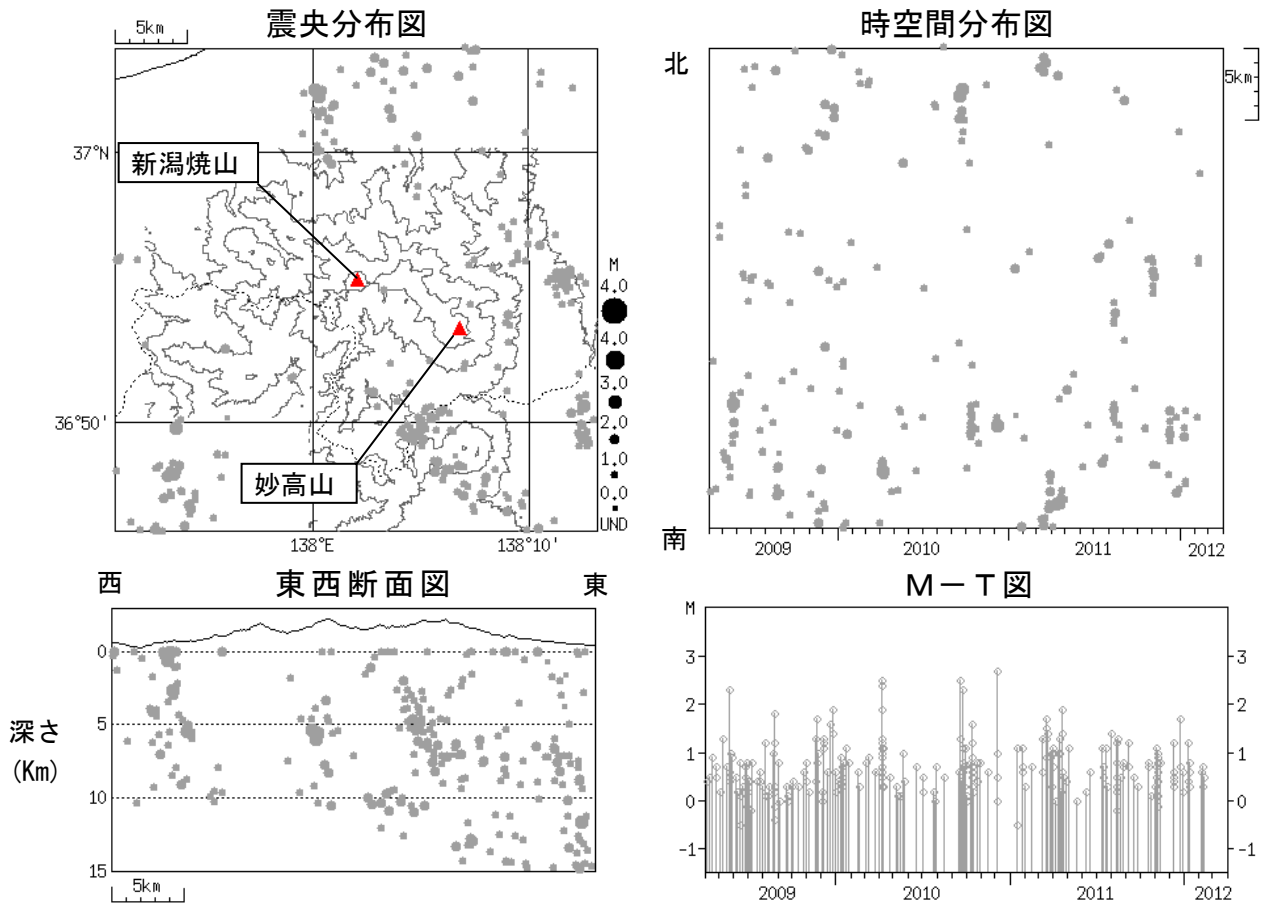


図 4 ※ 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2009 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）

● : 2009 年 4 月 1 日～2012 年 2 月 29 日 ● : 2012 年 3 月 1 日～3 月 31 日

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。